

委員会のうごき

常任委員会視察

建設生活

茨城県笠間市

友部駅駅舎建設について

平成20年10月6日、茨城県笠間市・JR友部駅の現地視察を行いました。委員全員が参加し、担当部局として都市建設部職員4名に同行していただきました。平成23年度中の新駅開設に向けた新駅駅舎建設の調査・研究を目的とした行政視察でした。

笠間市議会土木建設委員長挨拶の後、笠間市都市建設課よりJR友部駅の概要説明をいただきました。

友部駅は平成16年度に新駅駅舎として橋上駅舎を建設し、



駅周辺開発は平成16年度から20年度まで、まちづくり交付金を活用し整備を行いました。駅舎に付随して南北自由通路を単独で整備し、南口広場と北口広場を通行できるようにしました。平成19年3月に橋上駅舎と南北自由通路の供用開始をし、1日当たりの利用人数を7千人と見込んでいますとの説明がありました。

質疑としては、

①橋上駅舎の考えは②積立金は③JRとの協議は④市民の声の反映は⑤今後の整備計画は⑥駅舎の設計は⑦駅等の維持管理は等がありました。

答弁としては

- ①南北の地域差があり、その解消のため橋上駅舎とした。
- ②平成12年度から16年度までに14億円の積立があった。
- ③南北自由通路は市負担の建設で、JRとの協議はしなくてもよいとのことだったが協議はした。
- ④笠間市は陶芸と石の町で、



駅出口に笠間焼の陶芸版を設計した。市民からの意見は聞いていない。

⑤駅北口、南口整備は地区計画を設定し整備している。駅南は都市計画のまちづくりの中で、地域の意見を聞いている。

⑥駅舎はJR東日本が設計し、笠間焼を盛り込んでもらった。

⑦維持管理上の問題点は、エスカレーター緊急停止時の対応。またハトが南北自由通路に来てしまうこと等。

以上で質疑を終え、JR友部駅の現地視察を行いました。

※委員長が報告しました。

文教福祉

市立小・中学校視察

10月27日(月)・28日(火)の2日間にわたり、文教福祉常任委員会では、市立小・中学校を訪問し、現状を確認いたしました。

子どもたちの元気なあいさつに迎えられ、校長先生をはじめ、先生方に校内を案内していただきました。

各学校それぞれに特色があり、その特色を生かした工夫がなされていました。



吉川小学校にて